



## ベトナム・ハノイ市

# 一枚のポスターでわかる 国造りのメッセージ

世界銀行タスク・チーム・リーダー 鎌田卓也

**WATCH FIRE**

【開発途上国の明日】



ハノイ市では毎年8月になると、街中に独立記念の飾りつけが見られる。

このポスターの左上の数字は「八月革命」の記念日、8月19日を意味する。1945年の同日、ホーチ・ミンの率いる独立同盟会はハノイを占拠し、2週間後の9月2日には独立を宣言した。この日が建国記念日であり、同氏の誕生日と並びベトナムの最も重要な祝祭日だ。下のスローガンは、「躍進を続け、両記念日を祝う」という趣旨。ちなみに、八月革命で敗れたとされているのは、第2次世界大戦で実質的には降伏していた日本軍である。

左下の男女の絵は現在の経済状況をうまく表している。先頭に立つのは急ピッチで進むインフラ建設に携わる労働者。女性が持つ書類は、鳩山首相のトップセールスで話題の原子力発電案件であろうか。しかし稲穂もしっかり描かれている。ドイモイ政策導入以来、急成長を遂げている同国も、人口の6割は農民だ。

オフィスらしき建物の絵は、都市化計画の象徴に見える。同国政府は現在3割弱の都市人口を15年後には5割まで増加させる意向で、ホーチミン市やダナン市などの大都市に続く中規模都市の開発を急いでいる。レトロなデザインのポスターの中にも未来を見据える視線が読み取れるようだ。

(写真も筆者)